

総合戦略の基本的考え方

- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、**社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。**
- **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に着実に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化。**
- **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、**デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

＜モデル地域ビジョンの例＞

■ スマートシティ スーパーシティ スマートシティ AICT (福島県会津若松市)	■ 「デジ活」 中山間地域 担い手減少に対応した自動草刈機の導入	■ 産学官 協創都市 データを活用したスマート農業の取組 (高知県・高知大学)
■ SDGs未来都市 地域交通システムやコミュニケーションロボットの活用 (宮城県石巻市)	■ 脱炭素 先行地域 ハイオマス発電所稼働による新産業の創出 (岡山県真庭市)	

＜重要施策分野の例＞

■ 地域交通の リ・デザイン 自動運転バスの運行 (茨城県境町)	■ こども政策 保健師等とのオンライン相談 (山梨県富士吉田市)	■ 教育DX オンラインによる遠隔合同授業 (鹿児島県三島村)	■ 地域防災力の 向上 GPS除雪管理システムの導入 (山形県飯豊町)
■ 遠隔医療 医療機器装備の移動診療車 (長野県伊那市)	■ 地方創生 テレワーク 空き蔵を活用したサテライトオフィスの整備 (福島県喜多市)	■ 観光DX 観光アプリを活用した混雑回避・人流分散 (京都府京都市)	

地域ビジョン実現を後押し

＜施策間連携の例＞

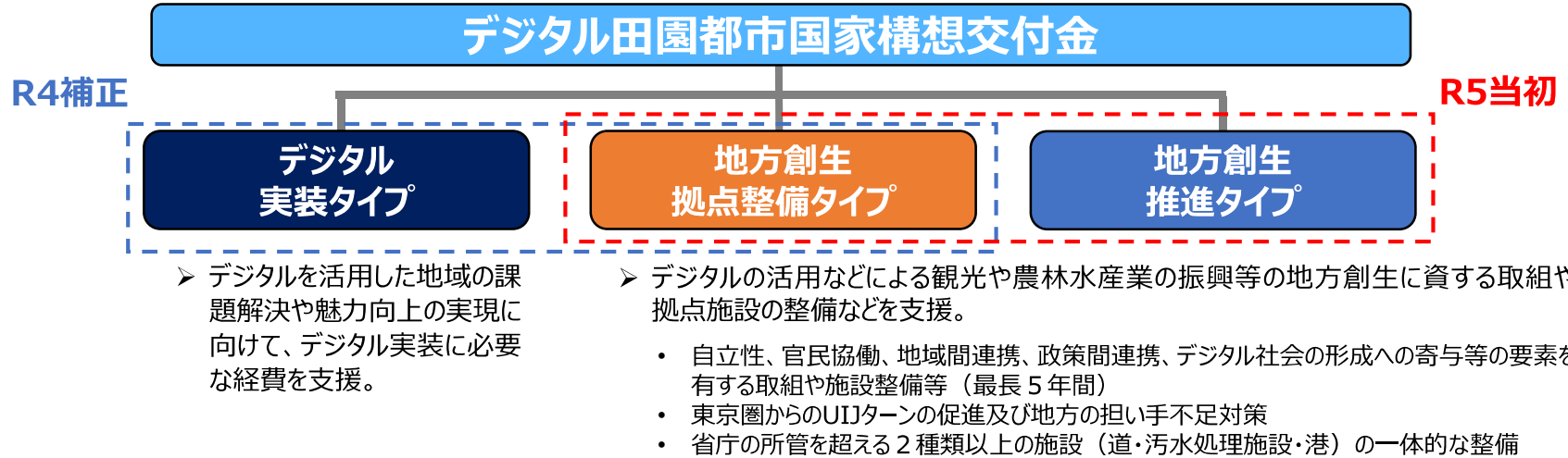
関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援
✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

＜地域間連携の例＞

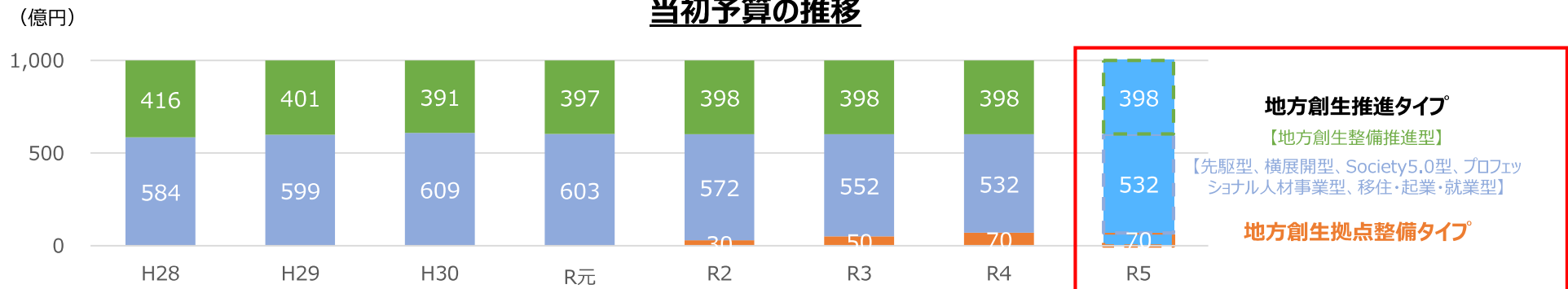
デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進	✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

デジタル田園都市国家構想交付金の創設

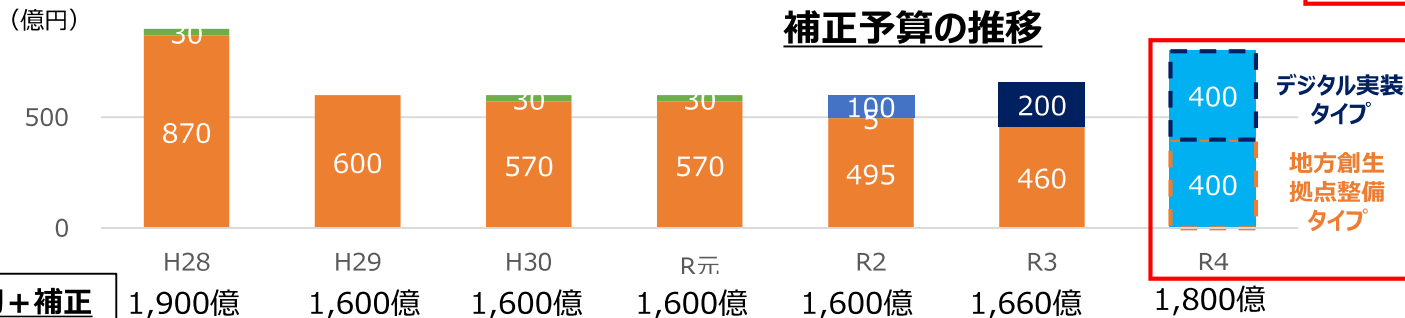
R5当初予算案：1,000億円、R4補正：800億円（R4当初：1,000億円／R3補正：660億円）



当初予算の推移



補正予算の推移



デジタル田園都市国家構想交付金（当初・補正）

地方創生整備推進交付金（当初・補正）

地方創生推進交付金（当初）

地方創生拠点整備交付金（当初・補正）

（注1）R2補正で地方創生テレワーク交付金を100億円措置。
（注2）R3補正でデジタル田園都市国家構想推進交付金を200億円措置。

当初+補正

1,900億 1,600億 1,600億 1,600億 1,600億 1,660億 1,800億

事業概要【米子市ヘルスケアプラットフォーム実装事業】

実施地域	鳥取県米子市	事業費	296,455千円
実施主体	鳥取県米子市・鳥取大学医学部附属病院	人口	146,139人(2022.12.31現在)
事業概要	米子市は‘誰もがずっと元気で健康に暮らせるまち’をめざしているが、急速な高齢化・人口減少の下で医療リソース不足やフレイル高齢者の増加、地域コミュニティの活性化といった課題が深刻化している。この課題の解決のため、行政・医療・民間事業者等によるコンソーシアムを構築し、①地域共通デジタル診察券 ②フレイル対策 ③地域情報ポータル の3機能を軸にマイナンバーカード連携アプリ「よなゴーゴー」を実装し、well-beingを実現するデジタルサービスとして、全世代の市民に提供する。		

取組内容

「**住んで楽しいデジ田都市よなご**」を実現するために鳥大病院で開発された診療案内アプリ「とりりんりん」を基に、マイナンバーカードによる本人確認機能を連携し、市民が医療・福祉・行政の情報を活用するためのポータルサイトアプリ「よなゴーゴー」を開発する。

解決をめざす地域課題

課題① デジタルを活用した効率的な医療…**地域共通デジタル診察券（4医療施設+かかりつけ医）**

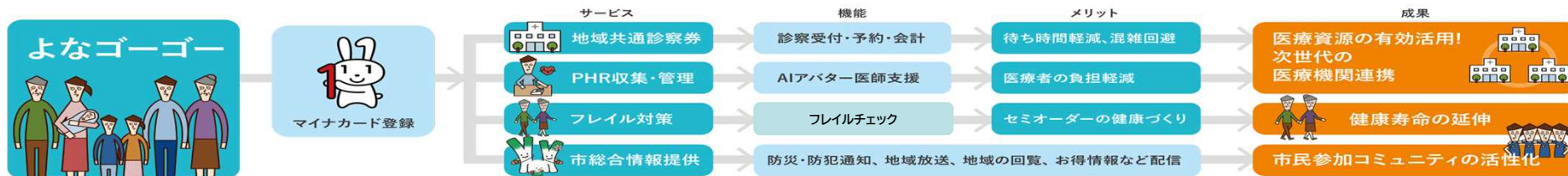
- 地域の医療機関で**共通の診察券機能**を実装（医療施設へのオンラインチェックインや予約情報の管理・診察呼出機能・会計・オンライン診療機能を装備することにより、患者の大幅な待ち時間の短縮や医療機関内各所での混雑緩和につながり、患者の利便性が高まる。また、医療資源の効率的な活用が可能となる。
- 「よなゴーゴー」に実装する支援アバターが、医療の提供が必要な市民の**日々記録（血圧や血糖値）の情報収集や治療継続（生活習慣病）のモチベーション管理**を支援し、デジタルを活用したヘルスケアサービスを実現する。
- 市内の医療機関を中心に417医療機関が接続するWEBでの患者紹介システムを活用し、多くの医療機関で同様のサービスを展開する。

課題② 健康寿命の延伸…デジタルを活用した次世代のフレイル対策 **デジタルデータに基づいた予防プログラムの実践**

- 高齢者限定ではなく、全市民を対象としたスマートフォンアプリによるフレイルチェック機能を装備する。
- 65歳以上の高齢者にはチェック結果に応じたセミオーダーの健康づくりに取り組むことができ、元気で自立した高齢者の増加を促す。

課題③ 市民生活・地域コミュニティの活性化…**地域情報ポータルサイト 普段使いを促進するマイナンバーカード活用の架け橋**

- マイナポータル自己情報取得API活用して、市の情報（防災情報・地域放送・地域の回覧・健康情報・予防接種案内・イベント情報など）やその他の地域情報を発信するプラットフォームを開発する。
- 市民が必要な情報を効果的に発信し、さらに様々な地域の魅力・強みを積極的に広めることにより、市民生活・地域コミュニティを活性化すると共に、市民自らがデジタル社会に対応していく機運を醸成していく。



事業概要 【学校開放事業のオンライン利用予約および遠隔鍵管理】

実施地域	鳥取県米子市	事業費	16,674千円 (200,000千円以内)
実施主体	鳥取県米子市	人口	146,036人 (2023.1.31現在)
事業概要	<p>現状、各市立小中学校体育施設開放事業利用者は公民館や中学校に複数回出向いて申請等を行う必要があり、手続きの煩雑さから市民のスポーツ活動の機会を損失している。「誰もがスポーツを楽しめる環境整備」という地域課題を解決し、より多くの市民の運動機会を創出することを目的として、予約システム・スマートロック・電子決済を導入し、利用者の利便性向上を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【公共施設オンライン予約システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホやPCから公共施設の予約が24時間いつでも可能となり、場所を問わずどこでも予約ができる。また、使用料の納付についても、クレジットカード等でのオンライン決済が可能となる。 ・施設管理者側も、システムからデータ管理ができ、利用率の把握等が容易となる。 <p>【遠隔鍵管理システム Remote LOCK】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のドア付近にキーボックス・スマートロック装置を設置し、鍵を遠隔管理する。 <p>●利用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者のスマホやPCを使って指定サイトから予約を実施。 ②予約後、利用日時のみ有効となる暗証番号を生成。 ③当日現地にて生成された暗証番号を入力し、開錠。 	<p>利用イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12時間に1度、鍵の開錠時に同期 ・スマホ等から予約 ・空き状況の確認 ・オンライン決済 ・電池駆動 ・リモート監視 ・オートロック機能あり ・ワンタイムパスワードの発行、通知 ・予約確認・承認 ・利用者へ一斉メール可 ・パスワードを入力し開錠 ⇒ 体育館利用 	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①施設の利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①予約システム導入の満足度 	